

## 4 教育の情報化

### 1 事業目的

教育の情報化（「情報教育（情報活用能力育成）」…**A** 「教科指導におけるICT活用」…**B**「校務の情報化」…**C**）を推進し、教育の質の向上を図る。

### 2 事業実施方針

#### **充**(1) 教科指導におけるICT活用の推進

- ・ 実物投影機の積極的な活用に向けて校内研修等を支援し、機器の使い方のみならず、実際の授業場面の活用について研修を実施する。
- ・ 教科等研修講座の中で、実物投影機等のICTを活用した授業研究及び事後研究を実施し、活用の場面、方法等について研修する機会を提供する。
- ・ 教科指導におけるICTの活用方法や実践事例等をイントラネットで紹介し、各校の取り組みを伊丹市全体に広げる体制を作る。

#### **充**(2) 情報モラル・情報セキュリティ研修の推進

- ・ インターネットの利用や携帯電話・スマートフォンの取り扱い等に関する現状や最新の情報技術等について、教職員対象の研修を実施し、情報社会の特性と児童生徒の利用実態を知る機会を設ける。
- ・ 児童生徒が自身で判断して行動できる力を身につけるために、各教科や道徳等での情報モラル教育の実践例を提供する。

#### (3) 学校園版情報セキュリティポリシーに基づく情報セキュリティの向上

- ・ 全教職員を対象に実施するeラーニングの研修内容を精査し、教職員の情報モラルと情報セキュリティの両面について研修を行う。
- ・ 学校園版情報セキュリティポリシーに基づき、資産管理システム等を運用し、システム面でのセキュリティ対策を引き続き実施する。
- ・ 総合教育センター内サーバネットワーク機器等の更新により、情報資産の管理ならびに情報セキュリティの強化を図り、学校園に安全かつ安定したシステム環境を提供する。

### 3 成果と課題

#### (1) 成果

- ① 寄附により、小学校全17校にプロジェクタ及び実物投影機を各3台（計51台）導入し、情報教育環境の整備を推進することができた（小学校1学級あたりの実物投影機整備台数0.39台から0.53台に増加）。（関連**B**）
- ② 情報教育研修会、学校園別コンピュータ研修会を通して、ICTの使用方法や活用事例の紹介ができた。ICTを活用した授業時間数の目標値2,100時間（平成28年2月末現在2,468時間）（関連**B**）
- ③ 「教育の情報化」を推進するため、平成21年度「学校ICT環境整備事業」（スクールニューデール構想）で導入した校務用PCを教育用PCとして再配付し、教科指導等に活用することができた（7台/1校あたり 189台配付 平成31年12月末まで使用可）。（関連**B**）
- ④ 携帯電話やスマートフォンに関する不祥事が後を絶たないことから、例年の10月実施から時期を早めるとともに、情報モラルに関する研修内容を追加し、情報モラル・情報セキュリティ研修として全教職員対象のeラーニングを実施した（平成27年6月8日～7月10日 実施人数1,140人）。（関連**A**）
- ⑤ 各学校園の学期末の棚卸状況を集約し、情報資産の管理を徹底することができた。（関連**C**）

#### (2) 課題

- ① 児童生徒が自身で判断して行動できる力を身につけるために、各教科や道徳等での情報モラル教育に係る授業を推進していく必要がある。（関連 **A**）
- ② ICTを活用した授業研究及び事後研究を実施し、活用の場面、方法等について研修する機会を設けることで、引き続き充実を図る必要がある。（関連 **B** **C**）

### 4 実施状況

#### (1) 研修

- ① 情報教育研修会 7月27日(月) 88名  
講義:「ICTを活用した学び合う授業デザイン」  
講師:和歌山大学 教授 豊田 充崇 氏
- ② 学校園別コンピュータ研修会 6校園 123名
 

7月24日(金)	このいけ幼稚園	ホームページ作成
7月28日(火)	昆陽里小学校	ホームページ作成
8月25日(火)	松崎中学校	教科指導におけるICT活用
8月25日(火)	南小学校	情報モラル・教科指導におけるICT活用
8月27日(木)	荒牧中学校	情報モラル
8月27日(木)	花里小学校	教科指導におけるICT活用
- ③ システム管理担当者会の開催 4回
 

5月14日(木)	31人	
7月27日(月)	23人	情報教育研修会と合同開催
11月24日(火)	31人	
3月8日(火)	32人	
- ④ ICTを活用した教育推進自治体応援事業 ICT活用教育アドバイザー派遣事業 3回  
講師:奈良教育大学 准教授 小柳 和喜雄 氏
 

第1回	12月11日(木)	7人
第2回	1月7日(木)	6人
第3回	1月28日(木)	7人

## (2) 学校園の情報化支援

- ① 教育情報化グループの状況  
体制:指導主事1名、行政職員1名、指導員1名、教育の情報化推進員(嘱託職員)1名  
「教育の情報化推進員」を1名雇用し、電話問い合わせやリモート対応等のヘルプデスク機能を充実した。
- ② 校務支援システム運用支援  
通知表および指導要録電子化の支援
- ③ 情報モラル・情報セキュリティ研修(eラーニング)の実施 1,140人  
全教職員を対象とした情報セキュリティ研修の実施(6月8日(月)~7月10日(金))
- ④ 学校園ホームページ更新(情報発信)支援(校内研修支援2回)  
月1回以上の更新を行うことができるよう、訪問およびリモート対応により、学校園を支援した。

## (3) 機器運用・整備

- ① 学校園設置機器の概要
 

ア 校務用PC(事務用)	1,233台
・常勤教員	1人1台
・各校共用	3台
・セキュリティ機能付きUSBメモリ	
・プリンタ、スキャナ等周辺機器	
イ 教育用PC(コンピュータ室)	1,209台
・小学校 児童用	43台、教師用 1台
・中学校 生徒用	41台(ノートPC31台、スレート型PC10台)、教師用 1台
ウ ICT機器	
・電子黒板(各小・中学校)	6台
・実物投影機(小学校)	11台、中学校 6台
・プロジェクタ(小学校)	3台
エ 各種システム	
・インターネット・イントラネットの提供	
・セキュリティ対策(ウィルス対策・フィルタリング・資産管理システム)	
・校務支援システム	
・センターサーバ(校務用データの保存)	
オ その他	

- ・総合教育センターホームページのリニューアル（平成27年10月1日～）
- ② 平成27年度更新
  - ア 情報教育環境の整備
    - ・実物投影機およびプロジェクタ（小学校17校各3台）
  - イ 総合教育センター内サーバ更新
    - ・メールシステムおよび学習支援システムの更新
    - ・セキュリティ機能の強化

#### (4) 家庭学習プリント配信システムについて

総合教育センターホームページ内「家庭学習のへや」の充実

- ①12月1日 「みんなの学習クラブ タブレット版」の運用開始  
伊丹市立小・中・特別支援学校で使用している小学校2教科（国語・算数）、中学校5教科（国語・社会・数学・理科・英語）の教科書の全単元の学習プリントを、家庭等のインターネットを使って利用するシステムを導入した。  
使用対象：市立小・中・特別支援学校在籍の全児童生徒 約16,500人  
市内教職員 約1,000人
- ②「家庭学習のへや」リーフレットの作成 20,000部  
市立小・中・特別支援学校在籍の全児童生徒及びその他関係機関へ配布を行った。
- ③市内システム管理担当者対象に事前操作説明会を実施 11月24日（火） 31人